

復興支援フォーラムニュース No.5

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>

第4回 「ふくしま復興支援フォーラム」

日 時 2012年1月28日(土) 14時00分～16時00分(予定)

報告者 丹波 史紀 氏(福島大学准教授)

テーマ 「双葉郡8町村住民実態調査について」

(会 場 福島市 市民活動サポートセンター
多目的ホール(チェンバおおまち3F/福島市大町4-15))

【投稿のお願い】

本ニュースは、フォーラムのご案内、ご出席者のご意見(文書)を中心に、随時、発行していますが、日時の都合が合わずフォーラムに参加できなかった方々も含め、皆さまからの積極的なご意見・ご提案を掲載させていただきたいと思っております。500字程度で、tkonno67@gmail.comまでお送りください。よろしくお願ひします。ニュースは、上記 URL にても読むことができます。(匿名可。)

【次回予定】

☆ 第5回フォーラム (2月20日)

日 時 2012年2月20日(月) 18時30分～20時30分(予定)

報告者 渡邊 純 氏 (弁護士)

テーマ 「損害賠償問題の現状と課題」

会 場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」
大活動室 1

<MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)>

<今までの開催&テーマ>

第1回 (2011. 11. 29) 「福島県復興ビジョンについて」(鈴木浩氏)

第2回 (2011. 12. 22) 「原発災害と地域社会」(真木實彦氏)

第3回 (2012. 1. 11) 「人間復興に向けた損害賠償運動の意義」(根本敬氏)

第3回 「ふくしま復興支援フォーラム」が開かれました。

新年1月11日、福島市内AOZで、第3回福島復興支援フォーラムが開かれ、根本敬氏(福島県農民連事務局長)から「人間復興に向けた損害賠償運動の意義 ～農業を中心として～」と題して、報告をいただきました。参加者は、約20名ほどですが、農業問題、損害賠償問題、除染の問題、食品安全基準の問題等、多方面にわたって、質疑応答、議論が出されました。(1月13日の民友新聞で、紹介されています。)

当日、文書でいただいたご意見等は、以下の通りです。

★除染、農業再生の取り組みは、やはり県民が主体／実動(働)部隊となって(知恵と労働力を出しあって)、組むべき。「国は”カネ”は出すが、口も手も出さない」という具合になりませんか？(A.K)

★国、県は誰の為に仕事をしているのか？疑問に思う。／村は、損害賠償をなぜ村民のためにやらないのか？(M.S)

★復興には、どうしても闘いの視点が不可欠です。今日の話には、その点に食い込んだもので、貴重でした。(O.S)

★農業に頑張りたい、作付けしないで、耕作放棄をこれ以上増やすことは、防げないのか。食糧自給率40%を100%にする気があるか？(K.W)

★賠償請求？請求しないと賠償してもらえないのか？たたか(戦、闘)わないと、賠償されないのは悲しい。やっぱりおかしい。(S.N)

★本年はどんな年とするのか。政府(民主党・官僚)にとって、東京電力にとって、そして、私達被害者早くにとって、と考える時、人間として、人生として、前向きにどう生きるか。私として、どう声を、運動をしていくかが問われています。やっぱり、こんな大事故でも、早く早く風化させようとするのか。どんな人でも、自分らしく生きて、前向きに生きて、人と人が助け合って生きて良いのです。許さない人権侵害～人間としての生き方(生存権保障)を実現させるため、個々の自覚を高めるべきでしょう。副村長が、他県の中で、福島県は金、金・要求ばかりしていると言声があると云わざるをえない程、国民、県民、地域、家族、企業別分断が進められるのか。各界の学者、科学者などはどう本年を見ているのか。(H.S)

★大変参考になりました。日頃、中小企業の活動を支援しておりますが、農業分野の活動に、深く感動いたしました。(K.F)

★野中氏の記事にあります、「現存被ばく状況にある地域で、経済活動を成立させ、住み続けられることを実現する」という前提に立った議論であれば、消費者と生産者の対立には、なり得ないと思いません。(K.I)

★大きな復旧・復興政策に関わる政府への要求(もちろん原発災害対応や原発政策を含めて)とともに、10ヶ月経て、なお過酷な避難生活を強いられている人々に対する支援や、人間らしい生活を実現するための復興政策など、緊急の課題についての取組みを進めつついかなければなりません。そのための議論を具体的に進めていきたい。そして被災地や被災者へ寄り添う活動をしていかなければ。(H.S)

~~~~~

☆ 第6回フォーラム(2月25日)＜予告＞ (詳細は、追ってお知らせします)

日時 2012年2月25日(土) 14時00分～16時00分(予定)

テーマ 「原発事故に伴う浪江町の復旧・復興に思うこと」(仮題)

報告者 小澤さん・佐々木さん (コメンテーター)鈴木浩氏

会場 福島市 市民活動サポートセンター・研修室

(チェンバおおまち 3F) (福島市大町4-15)